

成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策
<p>1 重要事項</p> <p>研究として、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌(『地域政策研究』)に嘉永6年8月から12月分(1冊)の翻刻を発表した。</p> <p>また、「竹垣日記」同時代日記の対比検討史料として東京大学法学部法制史資料室蔵「豊田友直日記」について研究会を組織して刊行のための翻刻作業を開始していたが、本学の令和2年度研究奨励費(学術研究図書刊行)を得て、昨年度に引き続き2020年11月に第三冊目(天保13年)から第五冊目(弘化2年)の計3冊を『飛驒郡代豊田友直在勤日記2』として岩田書院より刊行した。</p> <p>『代官の日常生活』(角川ソフィア文庫)の重版に伴い、内容を最新の研究成果にもとづき改訂をした。</p> <p>地域貢献として、赤山陣屋址に設置する「伊奈氏説明板」及び山王日枝神社前「赤山陣屋敷址説明板」記述内容について教育委員会へ助言・指導をした。</p> <p>社会貢献として、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>コロナ禍により、予定されていたセミナー研究報告と講演会が中止となった。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、2019年度から刊行が始まった『飛驒郡代豊田友直在勤日記』全2冊の刊行が終わり、これら膨大な情報を持った日記の分析、豊田日記刊行により同時代の親子・友人らの幕臣日記が揃うことになり、並列的に日記を比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣・江戸時代人の心性を明らかにしていきたい</p>	